

VR

バックホーによる不安全行動の疑似体験

業界初 高画質5Kのスーパーリアル映像を実現

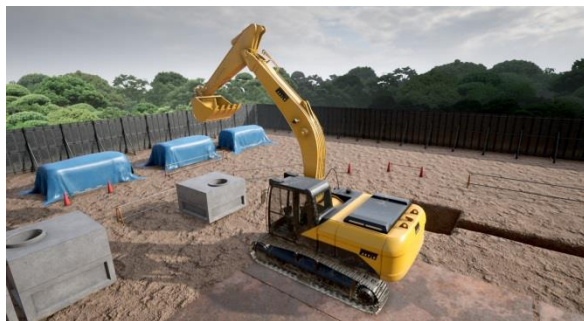
建設現場での事故の多くがバックホーに関係していると言われており、さらにバックホーの本体接触と挟まれによる事故が5割を超えています。アクティオでは、そういった事故を未然に防ぐことを目的とする業界初となる高画質5K解像度のスーパーリアル映像で“危険を、安全にリアルに体感する”ことができるバックホーのVRシステムを開発しました。



現場から事故をなくしたい

建設業の労働災害での死亡者数はここ数年減少傾向でしたが、2017年は増加に転じるなど、まだまだ事故は絶えません。しかし安全について、座学で勉強したり先輩から聞いたりしても実際に自分が体験していない為、身につかないのが現状です。

そこで、VRの技術を使って、疑似的に不安全行動することにより、どこに危険箇所があるか、安全でない行動をとるとどのような結果を招くのかを体験し、安全意識高揚に繋げていただけるシステムとなっています。



これまでのVRでは視野角が110°程度が主流で没入感不足や“VR酔い”がありました。高画質5Kのディスプレイに210°の視野角を搭載したVRを使用。酔いや没入感に関する問題を解決しました。